

平成28年度第2回岡山県和牛改良委員会 議事概要

- 1 日 時 平成28年10月4日（火）13時～14時
- 2 場 所 全国農業協同組合連合会岡山県本部総合家畜市場（真庭市草加部）
- 3 出席者 委員：9名 事務局：4名
- 4 諮問事項

（1）直接検定終了牛の措置について

直接検定が終了した3頭のうち、「高美須」及び「秋藤花国」については、発育や体型に優れ、期待育種価も高いことから、選抜し、後代検定の調整交配にかけることとした。

「葵花国5」については、他に比較して体型及び発育に劣り、前回選抜した「葵花国2」と全兄弟でもあることから、去勢し肥育することで了承された。

（2）後代検定終了牛の措置について

「黒金糸藤」 後代検定で全17頭の検定が終了

枝肉重量：447.4kg ロース芯面積：54.1c㎡ 脂肪交雑：6.7

脂肪交雑については、過去の基幹種雄牛のレベルを上回っている。

また、本牛は、岡山（藤良）系の「糸藤」を父とし、血統構成は岡山系74%と濃く、均称、体上線、体深に優れ、後代検定産子の発育、体型も良好であり、種牛性も期待される。

これらのことから、基幹種雄牛に推薦され、了承された。

（3）和牛ゲノミック評価の実用化について

育種価未判明の雌牛を対象にDNAサンプルを採集して、産肉能力のゲノミック評価を行っていく計画について、事務局から説明された。

具体的なサンプルの収集方法や関係団体との協力体制等について、今後の改良委員会で検討されることとなった。

（4）第11回全国和牛能力共進会について

第11回全国和牛能力共進会宮城大会への取組状況について報告された。

（5）その他

□ 候補種雄牛「茂花矢」の死亡廃用について

平成28年7月5日に脂肪壊死症で死亡したことが報告された。

本牛は、現在17頭による後代検定中であるが、検定終了まで引き続き実施することとし、在庫精液（838本）については、販売譲渡せず、検定終了後の改良委員会で扱いを審議することとされた。

□ 全共1区候補牛の調教委託に伴う直接検定の措置について

第11回和牛全共の1区若雄については、県所有の雄牛から出品を予定しており、出品に向けた調教については、県種雄牛育成組合へ委託することを想定している。

直接検定中は、調教委託ができないことから、調教委託は直接検定終了後に行うことが提案され、了承された。